



みたねの学校



卒業式

3月8日に町立中学校、15日に町立小学校において卒業式が行われ、来賓や保護者が見守るなか、通い慣れた学び舎を巣立ちました。

八竜中学校では、上野英人校長が壇上で一人ひとりに卒業証書を授与しました。上野校長は式辞で今年度の行事や部活動での活躍を紹介したうえで、「今年度のビックイベントであるメモリアル花火の打ち上げでは、たくさんの協力のもと地域全体で感動を分かち合いました。地域に支えられている八竜中学校を誇りに思い、いつまでもふるさと八竜を思い続ける気持ちをもちながら、力強く羽ばたいていくことを期待します」と激励しました。

卒業生代表の畠山咲桜^{さくら}さんは中学校生活を振り返りながら仲間への感謝や在校生への励まし、先生方や家族へ感謝の気持ちを伝えたうえで、「ここで出会えた先生方や友達の別れは寂しいものですが、3年間の思い出や今までの経験を胸に自分の道を邁進していきます。そして、自分らしさを忘れ



卒業証書授与（八竜中）

ず、悔いのない選択をしていきます」と話しました。

森岳小学校では、卒業生一人ひとりが登壇し、将来の夢や中学校での抱負を発表した後、原田校長から卒業証書を受け取りました。原田校長は式辞で「みなさん一人ひとりは才能の持ち主です。この後、成長していくなかで自分の得意なこと、好きなこと、才能といえるものを見つけてほしい。見つけたときは、自分の心の声に従い、まわりに流されることなく打ち込んでほしい。たとえ、はじめはうまくいかなくても、きつと次はできると自らを信じ、自らを切り拓いてください」と励ましました。卒業生は、呼びかけ「別れのことは」の中で、小学校生活を振り返りながら、お世話になった方がたへのお礼や今後の決意を力強く語りました。



別れのことは（森岳小）

スキー合宿

1月29日から31日、田沢湖スキー場において2泊3日のスキー合宿が行われ琴丘小学校5年生が参加しました。

インストラクターの指導のもと、初日から最終日まで日中はスキー漬けでした。スキー初体験の児童もおり緊張や不安でいっぱいでしたが、慣れてきて回数を重ねるにつれ上達していました。

夜は田沢湖スポーツセンターで夕食をとり、1日の反省や学習タイムなど、各自リラックした時間を過ごしました。

斎藤 還^{かへ}

僕は初めてスキーをやりました。1日目はスキーを履いて歩くのが難しかったけど、2日目からはだ



んだん滑れるようになり、カーブや足で八の字を作り止まることができるようになりました。リフトも1日目は落ちそうで怖かったけど、2日目には怖がらずに楽しく乗れるようになりました。行きのバスでは楽しみで元気だったけど、帰りのバスでは疲れて気づいたら寝ていました。これを機に家族でスキーをしたいです。

荒川 美来^{みくろ}

はじめはうまく滑ることができず緊張したけど、やってみるとあまり難しくなくて安心しました。2日目や3日目はたくさんリフトに乗ることができたり、左右に動いたり、速さの調整もできるようになりました。インストラクターからのアドバイスやポイントがとるために、転ぶ回数も少なくなりました。

ご飯もおいしかったですし、お風呂で疲れがとれました。とても楽しかったので、今度は家族で行ってみたいと思います。修学旅行の練習として、いい思い出になりました。